



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,569	4.6	85	18.7	81	35.2	66	43.6
29年3月期第2四半期	2,456	△4.7	72	546.0	60	—	46	△51.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 89百万円(103.5%) 29年3月期第2四半期 43百万円(△26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	5.69	—
29年3月期第2四半期	3.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,320	1,215	22.2
29年3月期	5,161	1,156	21.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,182百万円 29年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.50	2.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,300	3.6	145	△9.0	120	△18.3	100	△10.7
								8.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	12,317,000株	29年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	548,953株	29年3月期	548,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,768,047株	29年3月期2Q	12,101,406株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国新政権に対する政策不安や北朝鮮、中東等の地政学リスクにより、海外経済は不確実性が高まっており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数が49万6千戸(前年同四半期比0.7%減)と利用関係区分で、マンション等の分譲住宅は概ね堅調でありましたが、持家・貸家は弱含みで推移しました。また、電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向において需要家の中国での現地調達化が定着しましたが、当第2四半期連結累計期間の国内需要は、前年同四半期に比べ、OA機器関連製品等で増加しました。しかし、依然価格競争が激しく、事業環境は依然厳しい状況が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,569百万円と前年同四半期と比べ112百万円(4.6%増)の増収となりました。営業利益は、電気・輸送機器向は、需要の増加により、建設・梱包向は、鋼材価格等の高騰に伴い製品・商品の販売価格を是正したこと、また生産性の向上による製造コストの低減効果等により85百万円(前年同四半期72百万円)となり、経常利益は81百万円(前年同四半期60百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として固定資産除却損2百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税が9百万円であったこと等により66百万円(前年同四半期46百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、新設住宅のなかの釘を多く使用する木造の持家・貸家等の住宅着工戸数は、微減となりましたが、鋼材価格等の高騰に伴い、製品・商品の販売価格へ転嫁をしたこと等もあり、売上高は前年同四半期に比べ微増となりました。利益面では、生産性の向上による製造コストの低減効果等により、前年同四半期に比べ微増となりました。この結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比1.9%増の2,035百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ5百万円増の167百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向及びゲーム機器向の中国での現地調達化が定着しましたが、OA機器関連製品や輸送機器関連部品・産業機器向のライセンス製品の需要の増加があり、増収となりました。利益面では、売上高が伸びたこともあり、前年同四半期に比べ増益となりました。この結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比16.5%増の533百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ12百万円増の18百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ・資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,320百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比159百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ151百万円増加し3,228百万円となりました。これは主に現金及び預金が89百万円、商品及び製品が52百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ7百万円増加し2,092百万円となりました。これは、有形・無形固定資産の設備投資44百万円に対して、減価償却費が79百万円であり、ソフトウェア仮勘定23百万円を計上したこと及び投資有価証券が第2四半期連結会計期間末の株価が上昇したこと等により16百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

負債合計は、前年度末に比べ99百万円増加し4,104百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ34百万円増加し2,729百万円となりました。固定負債は、前年度末に比べ64百万円増加しました。これは、長期借入金の前年度末に比べ55百万円増加したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,808百万円(前年度末比158百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が52百万円あり、また長期借入金の返済263百万円に対して、長期資金の借入れを370百万円実行したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、1,215百万円となり、前年度末に比べ59百万円増加しました。これは、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が66百万円であるのに対して、配当金の支払いが29百万円であり、その他有価証券評価差額金が、株価の上昇により、前年度末に比べ20百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.8%から22.2%となり、1株当たり純資産額は95.56円から100.49円となりました。

・キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により60百万円の収入、投資活動により113百万円の支出、財務活動により128百万円の収入となり、合併に伴う現金及び現金同等物の増加額13百万円があり、資金は前年度末に比べ89百万円増加し、661百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加により84百万円減少しましたが、税金等調整前四半期純利益78百万円、減価償却費79百万円等により、営業活動で得られた資金は60百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は41百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出83百万円及び無形固定資産の取得による支出23百万円であったこと等により、投資活動に使用した資金は113百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は59百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増が52百万円であり、長期借入金は、370百万円を借入れ、返済による支出が263百万円であったこと等により、財務活動で得られた資金は128百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は233百万円の収入)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、平成29年5月11日に公表しました予想から、利益面で増益となりましたので、平成29年11月1日に修正いたしました。なお、通期業績予想につきましては、平成29年5月11日の公表値の範囲内であり、修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	572,231	661,291
受取手形及び売掛金	1,286,754	1,272,767
電子記録債権	101,206	97,309
商品及び製品	697,798	749,822
仕掛品	215,706	215,692
原材料及び貯蔵品	169,318	202,249
前払費用	11,887	9,802
繰延税金資産	21,344	21,344
その他	4,023	1,766
貸倒引当金	△3,776	△3,777
流動資産合計	3,076,496	3,228,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	488,006	471,272
機械装置及び運搬具（純額）	581,014	570,839
土地	733,542	733,542
その他（純額）	45,377	39,757
有形固定資産合計	1,847,940	1,815,412
無形固定資産		
ソフトウェア	36,650	30,912
その他	0	23,550
無形固定資産合計	36,650	54,462
投資その他の資産		
投資有価証券	111,580	128,041
長期前払費用	4,741	3,795
その他	96,011	102,445
貸倒引当金	△12,091	△12,066
投資その他の資産合計	200,242	222,217
固定資産合計	2,084,833	2,092,092
資産合計	5,161,329	5,320,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	766,325	726,364
電子記録債務	61,522	122,283
短期借入金	1,575,017	1,678,018
未払法人税等	22,480	15,796
未払消費税等	40,620	9,391
未払費用	49,601	49,786
賞与引当金	46,795	42,058
役員賞与引当金	11,730	—
その他	120,538	85,872
流動負債合計	2,694,632	2,729,571
固定負債		
長期借入金	1,075,203	1,130,444
繰延税金負債	12,946	21,825
役員退職慰労引当金	35,951	30,744
退職給付に係る負債	183,087	188,326
資産除去債務	3,479	3,489
固定負債合計	1,310,668	1,374,829
負債合計	4,005,301	4,104,401
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	504,515	541,997
自己株式	△49,060	△49,060
株主資本合計	1,110,852	1,148,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,698	34,227
その他の包括利益累計額合計	13,698	34,227
非支配株主持分	31,476	33,396
純資産合計	1,156,028	1,215,959
負債純資産合計	5,161,329	5,320,360

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,456,425	2,569,379
売上原価	1,970,726	2,063,635
売上総利益	485,699	505,744
販売費及び一般管理費	413,498	420,013
営業利益	72,200	85,730
営業外収益		
受取利息	18	10
受取配当金	699	894
保険解約返戻金	—	2,661
その他	3,892	4,543
営業外収益合計	4,610	8,109
営業外費用		
支払利息	12,426	9,968
その他	4,088	2,327
営業外費用合計	16,514	12,295
経常利益	60,295	81,544
特別利益		
固定資産売却益	13	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
固定資産除却損	4,913	2,944
特別損失合計	4,913	2,944
税金等調整前四半期純利益	55,395	78,599
法人税、住民税及び事業税	8,406	9,911
法人税等調整額	367	△132
法人税等合計	8,774	9,778
四半期純利益	46,621	68,821
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	1,919
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,588	66,901

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	46,621	68,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,723	20,528
その他の包括利益合計	△2,723	20,528
四半期包括利益	43,898	89,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,865	87,430
非支配株主に係る四半期包括利益	32	1,919

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,395	78,599
減価償却費	80,428	79,961
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,000	△23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,036	△4,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,435	5,239
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△11,730
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,100	△5,207
受取利息及び受取配当金	△717	△904
支払利息	12,426	9,968
固定資産除却損	4,913	2,944
固定資産売却損益(△は益)	△13	—
売上債権の増減額(△は増加)	△42,100	17,884
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39,728	△84,941
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,874	20,799
その他	6,802	△22,823
小計	70,031	85,028
利息及び配当金の受取額	717	904
利息の支払額	△11,186	△9,976
法人税等の支払額	△17,677	△15,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,884	60,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△46,555	△83,518
有形固定資産の売却による収入	1,450	—
無形固定資産の取得による支出	△5,000	△23,550
その他	△9,437	△6,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,542	△113,591
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	210,000	160,000
短期借入金の返済による支出	△170,000	△108,000
長期借入れによる収入	811,500	370,000
長期借入金の返済による支出	△560,094	△263,758
自己株式の取得による支出	△46,000	—
配当金の支払額	△12,268	△29,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	233,137	128,821
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	215,480	75,858
現金及び現金同等物の期首残高	460,965	572,231
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,445	661,291

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,998,415	458,010	2,456,425	—	2,456,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	853	4,275	5,128	△5,128	—
計	1,999,268	462,285	2,461,554	△5,128	2,456,425
セグメント利益	162,130	5,765	167,895	△95,695	72,200

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,895
セグメント間取引消去	△179
全社費用(注)	△95,515
四半期連結損益計算書の営業利益	72,200

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,035,719	533,660	2,569,379	—	2,569,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	9,314	9,394	△9,394	—
計	2,035,798	542,974	2,578,773	△9,394	2,569,379
セグメント利益	167,697	18,088	185,785	△100,055	85,730

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	185,785
セグメント間取引消去	△62
全社費用(注)	△99,992
四半期連結損益計算書の営業利益	85,730

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,649,122	+2.0
電気・輸送機器向	469,248	+23.4
合計	2,118,370	+6.1

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,018,893	△0.2	341,587	△0.7
電気・輸送機器向	510,649	+20.2	119,159	+60.1
合計	2,529,543	+3.4	460,746	+10.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,035,719	+1.9
電気・輸送機器向	533,660	+16.5
合計	2,569,379	+4.6

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	569,178	23.1	592,164	23.0

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。